

館の運営方針	子育てについて学び地域のつながりを深める中で、家庭教育の充実・地区特性を生かした事業を展開する
ジャンルの目標	.
学びやふれあいの中で、お互いの成長を喜び、気軽に子育てや生活課題を相談し合える仲間づくりを推進し、安心して子育てができる、地域ぐるみの子育て支援、コミュニティの形成に寄与することを目標とします。	

☆個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	2・3歳児親子 子育て教室	楽しい親子遊びをとおして、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて共に考える機会とする。
②	楽しく家庭教育講座	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

☆ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A: 各個別事業の想定課題は正しかった。 B: 各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C: 個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A: 各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B: 各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C: 各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策		参加対象の範囲やPR方法の検討、地域資源や関係機関と連携したカリキュラムなど、事業内容のさらなる工夫が必要であると思われる。
改善	次年度への課題と展望策	B	A: 事業拡大。 B: 現状規模での継続。 C: 事業縮小。 D: 目的達成により終了。 E: 統合・改善・その他 ()

総合評価				
B	事業規模 A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果が得られている。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。 E: 現段階では判断できない。			
	<table border="1"> <tr> <th>成果</th> <td>参加対象を地区外にまで拡大したことにより、別の地区の情報も入り、交流が深まる結果となった。地域のボランティアを活用したことは、参加者の地域に対する安心感につながっている。学校教育を支援する機会を持つことができた。</td> </tr> <tr> <th>課題</th> <td>少子化、過疎化が進む地域的特性を踏まえて、一人で育児の悩みを抱え込まないための学び、交流の場を継続的に提供していく必要がある。</td> </tr> </table>	成果	参加対象を地区外にまで拡大したことにより、別の地区の情報も入り、交流が深まる結果となった。地域のボランティアを活用したことは、参加者の地域に対する安心感につながっている。学校教育を支援する機会を持つことができた。	課題
成果	参加対象を地区外にまで拡大したことにより、別の地区の情報も入り、交流が深まる結果となった。地域のボランティアを活用したことは、参加者の地域に対する安心感につながっている。学校教育を支援する機会を持つことができた。			
課題	少子化、過疎化が進む地域的特性を踏まえて、一人で育児の悩みを抱え込まないための学び、交流の場を継続的に提供していく必要がある。			

★公民館運営審議委員意見

委員①		幼児を抱えた家庭は子ども、子育てに不安を抱えていると思います。参加した和田地区の9組の親子が市内在住の講師の先生から専門的な指導を受ける。さらに地区内の幼児を抱えた家庭が互いにコミュニケーションをとれる場所を提供するのは大変意義があると思います。
総合評価	A	

委員②		他との合同開催や、年齢を限定しない方法など範囲を広げてみてはどうか。
総合評価	A	

委員③		計9回にわたり、事業を展開されたこと、大変素晴らしいと思う。内容に工夫されていた。
総合評価	A	

委員④		地区の子どもの数が少ない中、他地区への呼びかけはとても、良い事ですね、アットホーム的な楽しい活動が感じとれました。工夫がいっぱいされて、良かったです。大切に子育てされているのが、伝わってきました。
総合評価	A	

委員⑤		公民館の事業があるから、同年齢の子どもを育てる親子が集まる機会になり、公民館の事業を通して多くの成果があると思いました。少子化だからこそ大切な事業なので今後も継続してください。発表からもこの事業に対する熱意を感じました。資料・写真からも母子のおだやかな様子を感じられ、これも事業の成果だと思います。
総合評価	A	

委員⑥		2・3歳児親子 子育て教室 とてもよく考えられているプログラムであると思う。事業のねらいも的確に捉えられ、成果評価も的確だと感じる。地区の母親ボランティア参加も、講座終了後のことまでを考えると心強い。今後の課題についても反省点として整理され、それが次のステップへの課題として意識されている点も好ましく感じる。地区社協「ママのほっとタイム」等の事業や南部保健センター等との連携も図り、地区として総合的に子育て教室の展開が進むよう期待している。参加者の確保が課題とされており、本年度は地区外から3組の参加者を入れ交流を図ったとのこと。地区間交流も図られ、よいことではあるが、人数を集めることが目的とはならないように考えたい。和田地区でも共働き家庭が増加しているのではないかと推察されるが、育休取得者でなければ毎金曜日の参加は不可能であり、何か工夫が欲しい気もする。スポット的な参加は、その参加者が浮いてしまう可能性があるが、講座のいくつかを全市対象の公開教室としてオープンにしてみるなど、子育て教室を運営している保健センターや子育て支援センター等の協力を得ながら進めるのもよいと思う。それで人が集まる保証はないが、子育てに男性参画を図ることも大きな課題であるが、パパ向けテーマ、あるいはママ・パパのテーマを設定し、土・日曜日開催も検討されてよいのではないか。「男の参加」の難しさは理解できるが、試み続けることが必要ではないか。自主的なグループ結成の呼びかけができなかったことを反省されているが、グループづくりや運営の難しさ考えたときには、自主的に声が上がのを待つのもよいと思う。必ずしも、直ちにグループ活動に結びつけていく必要はない。何よりもこの事業が、孤立しない子育て環境づくり、いつも誰かに話ができる子育て環境づくりの基礎的な事業となっており、大きな役割を果たしたものと、総合評価Aと判断した。
総合評価	A	

委員⑦		過疎化がいろいろな面で問題となり、この事業も元々対象者が少ないことが課題となっていますが、だからこそ交流の少ない地域の母親たちへの支援としても「事業への課題」にもあるように魅力ある事業にしてほしいと思います。地域の方に補助していただく取り組みは、その方々との触れ合いも効果を上げていていると思います。
総合評価	A	

委員⑧		「2・3歳児親子子育て教室」 少子化の中で参加者を募ることに苦慮したと思いますが、成果として何よりも参加者相互の情報交換と保護者の交流が深まったことは大であったと思われます。また、子どもの成長過程において人間関係づくりの出発点をつくったと思います。継続して開催されることを望みます。
総合評価	A	

委員⑨		未就園児の集まる場の必要性は高く、公民館に担う役割は大きい。事業成果にも現れているが、働きかけ方次第で親御さんたちの必要としている事を引き出せるので、引き続き、丁寧な働きかけを期待する。この地区には対象者がいるのか把握していないが、虐待の対象となりやすい0、1歳児のいる家庭教育にも目を向けてくださるとうれしい。
総合評価	A	

委員⑩		「子育て教室」は、親子遊びを通して親と幼児の触れ合いの場として提供されており、また保護者同志のコミュニケーションを醸し出す場にもなっており、地域にとって有意義な事業だと思います。 実施内容も親子の触れ合いを十分に考えられた内容で、継続を望みます。
総合評価	A	

委員⑪		内容の濃い、発表だったと思います。プレゼンテーションに一工夫してください。次の発表には、パワーポイントの特徴を利用して ①1枚のスライドには、原則1文章または文章を順番に表示。一遍に沢山の文章を表示させない。 ②絵と説明は一致させる。(印刷イメージを確認)
総合評価	A	

委員⑫		(2・3歳児親子 子育て教育) 14歳以下が地区人口の約1割の中で実施していくことの大変さを感じた。 可能なら同様な事業を行って他館と講師の相互派遣を検討しては。
総合評価	A	

委員⑬		参加対象を広げたり、卒業した先輩をボランティアとして取り込むなどロコミを広げていく上でも大事なことだと思う。
総合評価	A	

委員⑭		幼児家庭教育に於ける 子育て支援として 視聴覚教育 設備の充実 テレビやビデオを利用したの情操教育 絵本の読み聞かせや 紙芝居等による お話会の実施 幼児家庭教育図書の充実が 求められます。
総合評価	A	

委員⑮		「親子子育て教室」は、育児の悩みや、スキンシップなどの「親子のふれあいの場」として大切な事業であり、スライドでの、母親や子供たちの笑顔がきれいで、楽しく参加している様子が分かります。ただ、「子育て教室」という観点から考察した場合、子育てには父親の果たす役割も大きいと思いますし、父親や、仕事を持っている母親の参加しやすい曜日の設定などは難しいのでしょうか？
総合評価	A	